

鈴木 りつか 議員 無会派



問 市制 20 周年記念事業で盆踊りを

答 記念事業の一つとして検討する

○市制施行 20 周年記念事業について、以下を問う。

問 近隣市町村を参考にしたか。

答 総務部長 他自治体の状況をホームページで確認し、一部の自治体に聞き取りをした。

問 本市独自の特色ある事業の打ち出しは。

答 令和 8 年 10 月 3 日に、本市、奈良県大和郡山市、熊本県長洲町による金魚サミットを開催し、広報大使深堀隆介氏の出演と作品の展示を予定。まちなか交流館内のガラス面にも作品を貼付することを検討。

問 市民が主体的に参加できるイベントは。

答 市民冠事業を令和 7 年 10 月から募集し、盛り上げていく。

問 市民参加交流の場として、本市の伝統文化「弥富音頭」「十四山音頭」等盆踊りを取り入れる考えは。

答 一部学区コミュニティや地域などで実施している。



▲ 20 周年のロゴマーク



問 市広報大使やとみまたはち氏作詞作曲の「大弥富音頭」を踊るイベントを取り入れては。

答 考えていないが、「きんちゃんのうた」を子どもたちの踊りを交えて披露する。

問 記念事業に盆踊りを取り入れることは、地域文化伝承と市民交流の促進のために有効であると考えているが、市長の見解は。

答 市長 市民が世代を超えて参加できる事業として「盆踊り」がふさわしいと考える。記念事業の一つと位置づけ、区長会長らと調整し、各団体の協力を得ながら開催を検討する。20 周年の取組を進め、次の 10 年に向けて市民一丸となり、新たな市政を作っていく。